

主題：聖書の心臓部——ガラテヤ、エペソ、ピリピ、コロサイ

メッセージ 13

コロサイ人への手紙(1)

神のみこころ(1)

一人のパーソンと一つの道——

すべてを含むキリストとキリストの十字架

聖書：コロサイ 1:9, 12, 15-19, 27. 2:2, 9, 11-17. 3:4, 10-11, 15. 4:12

- I. 神のみこころは一人のパーソン、すなわちすべてを含むキリストです——コロサイ1:12, 15-19. 2:2 :
- A. 神のみこころはキリストの中にあり、キリストの中に集中しており、キリストのためにあります。キリストは神のみこころの中のすべてです—— 1:9. 4:12。
- B. コロサイ人への手紙の中で明らかにされているキリストは、すべてを含む首位の方であり、神のエコノミーの中心性また普遍性です—— 1:15-18, 27. 2:16-17. 3:4, 10-11 :
1. コロサイ人への手紙は、すべてを含むキリストを啓示しています。彼は、神であり、人であり、宇宙におけるあらゆる積極的な事物の実際です—— 2:9, 16-17。
 2. キリストは首位の方であり、万物のうちで第一位を持つ方です—— 1:18。
 3. すべてを含む拡張するキリストは、神のエコノミーの中心性また普遍性であり、また神のエコノミーの中心また周辺です——マタイ 17:5. コロサイ 1:15-27. エペソ 1:10。
- C. 神のみこころは、すべてを含むキリストがわたしたちの分け前となることです——コロサイ 1:9, 12 :
1. 第1章9節の神のみこころは、キリストを指しています。神のみこころは、わたしたちがすべてを含む拡張するキリストを認識し、経験し、生きることにに関して深遠です。
 2. 神のみこころは、わたしたちがキリストを認識し、キリストを経験し、キリストを享受し、キリストで浸透され、キリストをわたしたちの命またパーソンとすることです—— 3:4。
- D. すべてを含むキリストは、わたしたちの栄光の望みとして、わたしたちの中に住んでいます—— 1:27。
- E. すべてを含むキリストは、わたしたちの命です—— 3:4 :
1. 「わたしたちの命」という言葉は、わたしたちがあらゆる積極的な事物の実際である方であるすべてを含むキリストを経験すべきであることを強力に示しています—— 2:16-17。
 2. キリストはわたしたちの命であるので、彼が持っているすべてと、彼が達成し獲得したすべては、わたしたちにとって主観的になります——ローマ 8:34, 10。
- F. すべてを含むキリストは、一人の新しい人の唯一の構成要素です——コロサイ 3:10-11 :

1. 新しい人としての召会の内容はキリストだけです。新しい人の中には、キリストのための余地しかありません。なぜなら、彼はすべての人であり、すべての人の中におられるからです。
2. 新しい人としての召会において、わたしたちはキリストの中に、キリストを通して、キリストへと存在しており、わたしたちがキリストの中に存在しているのは、キリストの中で神の表現となるためです—— 1:16-17。

G. すべてを含むキリストは、わたしたちの平安です—— 20 節. 3:15。

II. 神のみこころは一つの道、すなわちキリストの十字架です——1:20-22. 2:11-15 :

- A. 唯一のパーソンであるキリストはすべてのものに相對しており、唯一の道はすべての道に相對しています—— 1:20。
- B. 一人のパーソン—キリスト—は宇宙の中心であり、一つの道—十字架—は神の統治の中心です—— I コリント 2:2. 1:17-18, 23. ガラテヤ 6:14 :
 1. 神は十字架によってあらゆるものを統治し、十字架によってあらゆるものを対処します——コロサイ 1:20. 2:14-15。
 2. 十字架によって、神は宇宙のすべての消極的なものを対処してきました。そして、彼は依然として十字架を通してあらゆるものを統治しています——エペソ 2:14-16。
- C. コロサイ人への手紙は、召会生活の中ではキリストがすべてであり、すべての中におられなければならないことを、わたしたちに教えています。キリストでないものはすべて、十字架に行かなければなりません—— 1:18. 3:10-11 :
 1. 十字架を通して、わたしたちは無となる必要があります、何も持たない必要があります、何もできなくなる必要があります。
 2. もしわたしたちが十字架を避けるなら、わたしたちであるもの、わたしたちが持っているもの、わたしたちができるものは、キリストの代替物となります—— I コリント 1:17-18, 23。
- D. 「彼を通して万物を、すなわち、彼を通して、地にあるもの天にあるものをご自身に和解させ、彼の十字架の血を通して、平和をつくられたのです」——コロサイ 1:20 :
 1. サタンと彼に従った天使たちの反逆のゆえに、天は汚染しました。ですから、地にあるものだけでなく、天にあるものも、神に和解させられる必要があったのです—— 20 節後半。
 2. わたしたちは罪人として贖いを必要としましたが、敵として和解を必要としました—— 14, 21-22 節。
- E. 「わたしたちに敵対し、わたしたちに逆らっていた、数々の規定から成っている手書きの書を消し去り、それを取り除いて、十字架に釘づけてしまわれたのです」—— 2:14 :
 1. 「数々の規定」は、儀礼的な律法の規定と、その儀式のことを言っており、それは生活や礼拝の形式や方法のことを指しています——エペソ 2:15。
 2. 「それを十字架に釘づけてしまった」は、数々の規定から成っている戒めの律法を廃棄することを意味します。

- F. 「神は支配たちや権威たちをはぎ取り、彼らを公然とさらしものにして、そこにおいて彼らに、凱旋の中で勝ち誇られました」——コロサイ 2:15 :
1. キリスト、神、邪悪な天使の支配たちと権威たちにかかわる諸活動は、十字架に集結しました。こういうわけで、十字架は神の永遠の、中心的な、唯一の道となったのです—— 14-15 節。
 2. キリストは彼の十字架によって贖いを達成するために労苦していました。父なる神は罪を裁くために、また律法を十字架につけるために働いていました。同時に、邪悪な支配たちと権威たちは神とキリストの働きを妨げようと忙しくし、神とキリストの近くに押し迫っていました。こういうわけで、戦いが十字架で激しく進行していたのです—— 14 節。
 3. 神は十字架上で邪悪な天使の支配たちと権威たちを公然とさらしものにして、そこにおいて彼らに凱旋の中で勝ち誇り、彼らを辱めました—— 15 節。